本宮市の皆さんを紹介するページ

みんなのひろば

今月の人

遠藤俊也さん
SHINYA ENDO
（本宮字上町）

昭和46年12月13日生まれ。
ご存じ、昭和24年創業「一二三食堂」の若旦那さん。伝統の味を守り続けるラーメンは、昔から大人気。今も地元産の野菜を使ったこだわりスープが自慢である。趣味は、バスケットボール。中学時代の地元同級生と「三十四籠球会」を結成し、毎週火曜日、運動不足解消のためにと活動している。また、商工会青年部では、広報委員長として活躍。広報紙「ありがた屋」やホームページの制作など、広報活動に忙しい。

私の随想録

「もとみや　再発見！」

ＦＭモットコム「永駄目（ながだめ）さん」からご紹介いただきました、一二三食堂の遠藤俊也です。

生まれも育ちもこの本宮なのですが、ふと気がつくと本宮の魅力に改めて気がついたのは実はほんの数年前なのです。というのも学校を卒業し、勤めていた会社が市外だったため、本宮には寝に帰ってくるようなものでした。ゆえに本宮に関わる機会があまりありませんでしたし、正直関心もなくなっていました。

ところが結婚を機に食堂の仕事をするようになり、毎日のように街中を回り、街の人と接し、商工会青年部の活動を通し街と関わっていくうちに、子どもの頃から慣れ親しんだこの本宮の風景、本宮に住む人々、忘れかけていた本宮の素晴らしさを思い出すことができました。そして本宮を盛り上げようと頑張っている人たちが、自分が思っている以上に多かったことも知りました。自分も商工会青年部広報紙「ありがた屋」などの活動を通し、非力ながらも本宮の活性化の役に立てればと思っています。

以前の私のように本宮が「寝る場所」になっている人も結構いると思うんです。そんな方も、ちょっと時間ができたとき本宮の街中を、車じゃなくて「歩いて」みて欲しいんです。きっとそこにある景色や人にふれて、自分はこんなに素敵な街に住んでいるんだなと実感できると同時に、今まで気がつかなかった意外な発見があるかもしれませんよ。

◇　◇　◇　◇　◇

来月は、斎藤幸子さん（糠沢字光が丘）の予定です。

保育所・幼稚園紹介

こどものひろば

【和田幼稚園】

園児数：２９人
住　所：本宮市和田字学校前３
電　話：４４－３１１５

ね～、こんなに大きくなったよ！
（二十日大根の収穫）

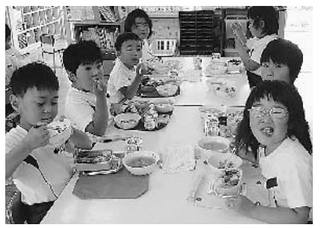
和田幼稚園の周りには、ザリガニとりのできる堀やどんぐり拾いのできる雑木林など豊かな自然が広がっています。こうした自然を生かし親しむ保育も大切にしていますが、日々生活する園庭の広さとそこで繰り広げられる子どもたちの遊びや活動が何よりの自慢です。

たとえば、広い園庭で伸び伸びとできる自転車乗りへの挑戦、これまで多くの子どもたちが乗れるようになっていきました。

また、園庭内に畑があり、毎年様々な野菜を世話しながら育て、収穫して味わっています。今年度最初の収穫は、年長組の二十日大根でした。

「見て～。こんなに大きくなったよ。」
「こっちは小っちゃ～い。」
「これ食べていい？」
「うわ～から～い。」
「からいけどおいしいよ。」
などと、収穫の喜びを満面に表していました。年少組の子どもたちも、収穫した野菜でサラダづくりをする様子を見守り、みんなでおいしくいただきました。

それから、食事をする環境づくりのひとつとして、保護者有志のボランティア協力を得て、ランチョンマット作り



手作りランチョンマットで食事
「おいしい。」

もとみや特産品に賭ける人たち

しらさわ宝漬
～白沢農産加工グループ～

新鮮野菜をふんだんに使った
「しらさわ宝漬」

ヤーコンときゅうりをしょうゆ漬けにした「やっこちゃん漬」、あまくておいしい「カリカリ梅漬」、「らっきょう漬」、「しいたけおかか」などなど……。昭和60年に旧白沢村の各地区農産加工グループの皆さんが設立した、白沢農産加工グループは、白沢のお母さん方が集い、野菜をはじめとした農産物を漬物に加工して販売しています。

平成８年に福島県農業賞を受賞

無添加で、昔なつかしいお袋の味

村の特産品にしたいと開発した「しらさわ宝漬」は、白岩字塩ノ崎地区の伝統芸能「八ツ田内七福神舞」にあやかって、七種類の漬物からスタートしました。現在、販売している漬物はこのほかに大根のゆず巻き、みそ漬け、季節に応じて白菜、たくわん漬けなどさまざまな漬物や加工品にも取り組んでいます。

材料は、皆さんが家で作っている地元の新鮮な野菜などを持ち寄ったもの。足りない分は仕入れ、毎年６月に漬けるカリカリ梅漬は、１トン以上を仕込みます。

取材をお願いしたこの日は、東京のお得意様に送るための商品の袋詰めと箱詰めの作業をされていました。このほか、市内の特産品直売所や東京、岳温泉などでの直売など、お客さんとのふれあいを大事にしながら販売活動にも力を入れています。

また、「シソの葉をもんだものやたくわんを漬けたものをそのまま送ったりと、お客さんの細かい注文にも応じます」と語る皆さん。平成８年には、農村女性活動部門で第37回福島県農業賞を受賞されています。

「添加物が入っていない、昔ながらの手作りの漬物です。一度食べてみてください」と、笑顔で語る白沢のお母さん方が作った自然でおいしいお袋の味を、市民の皆さんも、ぜひご賞味ください。

福を呼び込む七福神の絵柄入り。
バラ売りもしています。

FM Mot.Com（エフエム モット コム）秘情報

あの声は、私です・・・

《パーソナリティ紹介》
◆ラジオネーム
　ヒ　デ
◆本名：冬室秀樹さん
◆出身：本宮字塩田入
◆趣味：カラオケ、ラクロス
◆担当番組：「グッドモーニング・カフェ」（月・火曜日担当）

◆リスナーに一言：グッド・カフェは、朝一番の情報提供生放送番組。特に月曜のスポーツ、火曜の芸能コーナーは、私独自のコーナー。Ｊポップの音楽にのせ、最新の話題を提供しています。若い人はもちろん、新しい分野に挑戦してみたいと考えている年配の方も、ぜひ聞いてください！

を行いました。その後、お母さんたちがアップリケや刺繍をして素敵に完成させてくれました。一人二枚あるランチョンマットはその日の気分で選ぶことができ、楽しく食事をしています。食事の仕方もさらに上手になりました。

そのほか、わらべうたを中心として、仲間や教師と遊ぶ月１回の「音の広場」が、子どもたちの大好きな時間です。遊びや食事の準備の時などのちょっとした生活の場面でも、手遊びを交えながら自然と旋律を口ずさむ姿が見られ、わらべうたを通して心のつながる心地よさを感じているようです。

毎月行われている「音の広場」